



【weekly CDDP+RT減量・休薬・中止基準】

J Clin Oncol 2022;40:1980-90.

減量	シスプラチン
基準量	40mg/m <sup>2</sup>
1段階	30mg/m <sup>2</sup>
2段階	20mg/m <sup>2</sup>
3段階	中止

有害事象	Grade	用量調整
白血球減少	3	Grade2以下になるまでシスプラチンを休薬する。
	4	Grade3以下になるまで放射線を休薬する。 Grade2以下になるまでシスプラチンを休薬し、再開時はシスプラチンを1段階減量する。シスプラチン2段階減量後にGrade4が出現した場合は、シスプラチンは中止する。
好中球数減少	3	Grade2以下になるまでシスプラチンを休薬する。
	4	Grade3以下になるまで放射線を休薬する。 Grade2以下になるまでシスプラチンを休薬し、再開時はシスプラチンを1段階減量する。シスプラチン2段階減量後にGrade4が出現した場合は、シスプラチンは中止する。
血小板数減少	2~3	Grade1以下になるまでシスプラチンを休薬する。
	4	Grade3以下になるまで放射線を休薬する。 Grade2以下になるまでシスプラチンを休薬し、再開時はシスプラチンを1段階減量する。シスプラチン2段階減量後にGrade4が出現した場合は、シスプラチンは中止する。
発熱性好中球減少症 ・粘膜感染	1~2	回復するまでシスプラチンを休薬する。
	3~4	回復するまで放射線及びシスプラチンを休薬する。 再開時はシスプラチンを1段階減量する。シスプラチン2段階減量後にGrade4が出現した場合は、シスプラチンは中止する。
腎障害	40mL/min ≤ Ccr < 50mL/min	シスプラチンを30mg/m <sup>2</sup> に減量する。
	30mL/min ≤ Ccr < 40mL/min	シスプラチンを20mg/m <sup>2</sup> に減量する。
	30mL/min > Ccr	30mL/min ≤ Ccrに回復するまでシスプラチンを休薬する。再開時はシスプラチンを20mg/m <sup>2</sup> に減量する。
口腔粘膜炎・咽頭炎・喉頭炎 ・放射線性皮膚炎	4	治療を中止する。
末梢性感覚ニューロパチー ・末梢性運動ニューロパチー	2	シスプラチンを1段階減量する。シスプラチン2段階減量後にGrade2が出現した場合は、シスプラチンは中止する。
	3~4	シスプラチンを中止する。
聴力障害	2	シスプラチンを1段階減量する。シスプラチン2段階減量後にGrade2が出現した場合は、シスプラチンは中止する。
	3~4	シスプラチンを中止する。